

いさいさ農業高校 第24回



北海道幌加内高等学校

一 地域の概要

幌加内町は上川管内西部に位置し、東西南方向約二四km、南北方向六三kmと南北に長い形をしています。人口は一、二四六人と小さな町ですが、冷涼な気候、昼夜の寒暖の差、日中の気温上昇を穏やかにする朝霧などの自然条件がそば栽培に適していたこと等から作付面積が増え、一九八〇(昭和五五)年に日本一となり、今では作付面積が三、二〇〇ha、生産量も二、九〇〇トンを超えるほどになりました。「幌加内そば」は、地域団体商標の登録を行うなど、日本一のそばの里として、加工品づくりにも力を入れています。

また、日本最大の人造湖「朱鞠内湖」があり、一九七四(昭和四九)年には道立自然公園に指定され大小一三の島々が浮かぶ湖は独特の雰囲気を持ち、イトウが住む神秘の湖と呼ばれています。周辺にはレストランや遊覧船、キャンプ場などの施設があり、毎年多くの方が大自然

を楽しみに訪れる他、冬季間には結氷した湖でのワカサギ釣りが行われ、品質の良いワカサギを求めて多くの釣り人が訪れています。

二 学校概要

本校は一九五四(昭和二九)年北海道幌加内農業高等学校として開校し、一九八八(昭和六三)年に北海道幌加内高等学校に改称。創立七〇周年となる町立の定時制農業高校です。日本一の生産量を誇るそばの町の学校であり、二〇〇二平成(一四)年度から学校設定科目「そば」の授業を行っています。生徒全員がそば道段位認定制度(主催…全麺協)のもと、段位取得を目指してそば打ち技術の取得向上に日々励んでいます。そば打ちだけでなく、そばの栽培、調理、そば店経営など、そばを多方面から学習します。

また、農業の六次産業教育を柱に、学校と産業現場が一体となった実学・産業

教育を展開、地域の一員として地域社会で活躍できる人材育成に努めています。

三 特色ある学習内容

(一)科目「そば」

全国で唯一の科目「そば」を各学年二単位ずつ学習します。全麵協主催のそば道段位認定会で段位取得できる技術を身につけるため、有段者の町民の方々にも講師として協力頂きながら指導を行っています。



また、そば打ちだけではなく、栽培や調理についても学び、地域特産品の理解を深めるとともに、活用方法も身に付けていきます。このほか、そばを通して活動として町主催の「新



そば祭り」への出店をしています。今年度の修学旅行先である台湾では、そば打ちによる交流を予定しています。そして海外での

そば需要の高まりから、今年度はアメリカでのそば打ちデモンストレーションも予定されており、そばを通して国際交流が図られています。

(二)六次産業化学習

一次（生産）×二次（加工・製造）×三次（流通・販売）の一体化や連携によって地域を活性化させ、新たなビジネスを創出することを六次産業化と呼び、これからの新しい産業構造の形として注目を集めています。本校ではいち早く農業の六次



化に取り組み始め、農業高校の強みを活かした「六次産業化概論・実践」の科目を開講しています。この授業

を通し、本校で年二回開催される幌高商店会での販売に向けた準備・運営を行います。本校生産品を原材料とし加工する「ベーカーリー」、本校のそばを提供する「そば処」、また本校生産品や加工品を販売する「商店」にグループ分けし、生徒が主体となつてより実践的な学びを深めています。

(三)農業体験実習・職場体験実習

本校では地域水田農家にて農業体験実習を三日間実施しています。農家の方々



からのご指導により地域農業の理解と勤
労観について学ぶとともに地域との結び
つきを深めています。

また、二年生は町内外に企業に協力を
いただき職場体験実習も行っています。
これらの体験的な学びを複数行うことで
職業理解と自己の進路適性について考え
る良い機会となっています。

(四)町、企業と連携した

地域課題への取り組み

幌加内町と企業と学校の連携により、
地域課題解決に向けた学習を行っています。
本校卒業生が地域創成を目的に起業
したトツキ合同会社との連携により地域
資源活用方法について学習しています。
本校生徒とともに幌加内ソバ循環プロジ



エクトチームを発足し、未利用資源の活
用についてアイデアを形にしていきます。
また、株式会社ユニヴァ・ジャパンと
の連携ではエネルギー資源の分野から、
地域の資源活用について研究を行って
います。町の高校として地域課題に積極的
に向き合い、地域振興や交流人口の増加
を目指し、活動しています。

四 おわりに

本校は地域特産品のそばを中心とした
農業学習に取り組み、地域産業の理解を
深めた上での地域活性化や地域の人材育
成を担っています。地域課題の解決に向
けた学習と地域創造への対応に必要な資
質や能力を高め、社会で活躍する力を身
に付けることができる環境があります。

また、生徒がやりがいや目標を持った
高校生活が送れるように教職員や町、地
域住民が一体となった「チーム幌加内」
として教育活動を進めていきます。